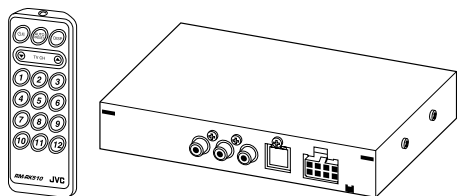


TV チューナーユニット

型名 KV-C1000

も く じ

	ページ
安全上のご注意	2~4
取り付ける前に	5
セット一覧表	6
取り付ける	7~13
・TVチューナーユニットを	
取り付ける	8
・フィルムアンテナを	
取り付ける	9~13
接続する	14~16
リモコンの使いかた	17~18
・リモコン受光ユニットを	
取り付ける	17
・リモコンで操作する	18
「故障かな?」と思う前に	19
保証とアフターサービス	20
主な仕様	21
アナログ放送からデジタル放送への	
移行について	22



— お買い上げありがとうございます —

⚠️ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示



警告

本機はDC12V マイナスアース車専用です。



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

絵が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



万一、故障や異常が起きたら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

自動車を運転中にモニターなどの画面を見たり音量調節等の操作をしない。



このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

警告

正しく配線する。



正しく配線を行わないと発火や事故の原因となります。特にリード線がねじやシートレールの可動部に、かみ込まれないよう整形し固定してください。

フィルムアンテナは正しい位置に取り付ける。



フィルムアンテナは、運転中の視界を妨げない位置を選んで取り付けてください。事故の原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意で行う。



交通事故や火災の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。



リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



事故・火災・感電・故障の原因となります。

分解禁止

配線作業中は、バッテリーの^{マイナス}端子のコードを外す。



ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

運転や視界の妨げになる位置にはモニターを取り付けない。



前方視界やエアバッグなど安全装置の妨げになる位置や、シフトレバーやブレーキペダル付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因となります。

取り付けには車の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない。



ステアリングやブレーキなど保安部品のボルトやナットを使用して本機を取り付けると、事故の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

⚠️ 注意

本機の取り付けや取り外し・配線には、専門技術と経験が必要です。



取り付けが困難な場合はお買い上げの販売店に依頼してください。
場合によっては、本機が熱くなっていることがありますので火傷やけがに十分ご注意ください。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示 (⊕と⊖) に注意し、内部の表示通りに入れる。



間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

必ず付属の部品を指定通り使用する。



指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。



他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

本機を不安定な位置に取り付けない。



正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

雨が吹き込むところなど水のかかる位置や、湿気やほこりの多い位置への取り付けは避ける。



水ぬれ禁止

本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火・故障の原因となることがあります。

振動の多い位置など、しっかりと固定できない位置への取り付けは避ける。



外れて事故やけがの原因となることがあります。

直射日光にさらされたり、暖房の熱に直接さらされるなど極端に高熱になる位置への取り付けは避ける。



発煙や発火・故障の原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

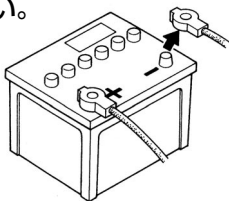
本機を車載用以外には使用しない。



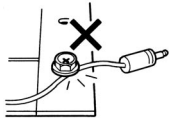
感電やけがの原因となることがあります。

取り付ける前に —必ずお読みください—

- 安全のため、運転や視界、またエアバッグなど安全装置の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 取り付けには車の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください。
- フィルムアンテナは、運転中の視界を妨げない位置に取り付けてください。
- 作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーの^{マイナス}端子のコードを外しておいてください。



- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。



- 取り付ける前に仮接続をして本機が正しく動作するか確認してください。
- 取り付けは必ず付属の部品(ねじなど)を指定通り使用し、しっかり固定してください。
 - ・ 指定以外の部品を使用しますと内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。
- ねじやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようご注意ください。
- 取り付けが困難な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

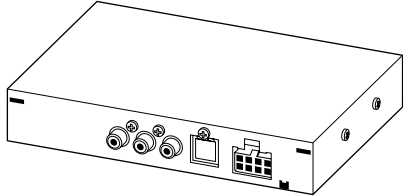
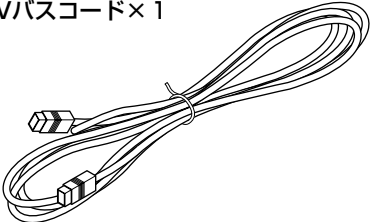
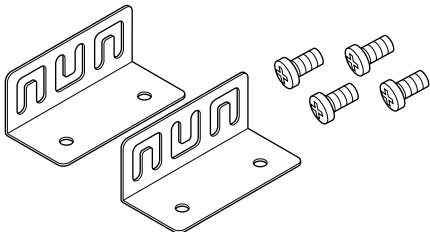
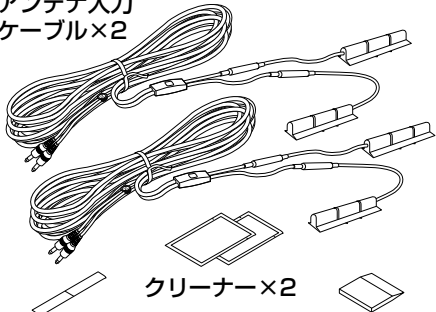
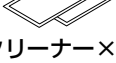


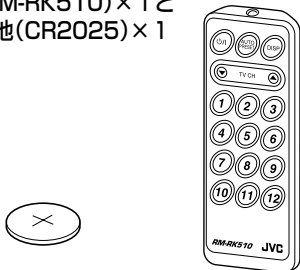
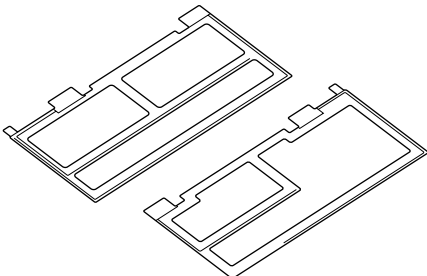
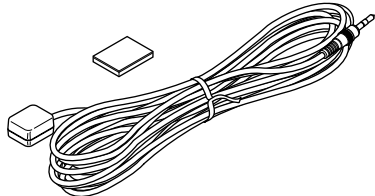
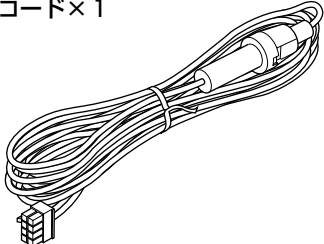
- 次のような位置には本機を取り付けしないでください。
 - ・ 直射日光にさらされたり、暖房の熱に直接さらされるなど極端に高熱になる位置
 - ・ 雨が吹き込むところなど水のかかる位置や、湿気やほこりの多い位置
 - ・ 振動の多い位置や、不安定な位置
 - ・ フロアマットの下など換気の悪い位置
 - ・ 燃えやすい物の近く
- 付属のリチウム電池の取り扱いについて
 - ・ 幼児の手の届かないところに保管してください。
 - ・ 充電・ショート・分解・加熱・火に投入しないでください。
 - ・ 他の金属と混ぜないでください。
 - ・ 廃棄または保存するときはテープなどを巻きつけて絶縁してください。
 - ・ 金属製のピンセットなどでつかましないでください。

ご注意

- 取り付け金具(ブラケット)を本機に取り付ける際は、必ず付属のねじ(長さ8mm)をお使いください。8mm以上のねじを使用しますと故障の原因になります。
- 本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行なってください。
- 本機は、DC12V マイナスアース車専用です。大型トラックなどのDC24V車には使用できません。
- 配線をするときは、車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。

セット一覧表

—取り付け前にお確かめください—

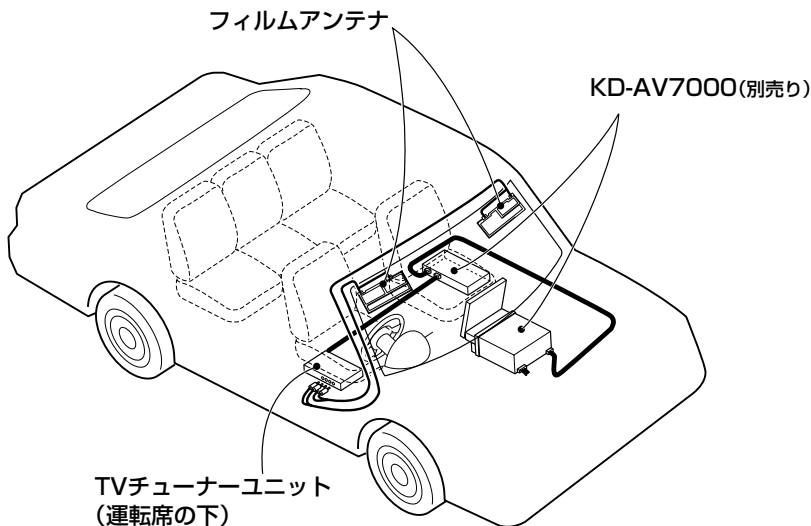
<p>TVチューナーユニット×1</p> 	<p>AVバスコード×1</p> 
<p>取り付け金具(ブラケット)×2 と 取り付けねじ(M4×8mm)×4</p> 	<p>アンテナ入力 ケーブル×2</p>  <p>クリーナー×2</p>  <p>アーステープ×1</p>  <p>ゴムベラ×1</p> 
<p>リモコン(RM-RK510)×1と リチウム電池(CR2025)×1</p>  <p>(この電池は動作確認用です)</p>	<p>フィルムアンテナ×2</p> 
<p>リモコン受光ユニット×1と 両面テープ×1</p> 	<p>電源コード×1</p> 

- 万一、不足しているものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。

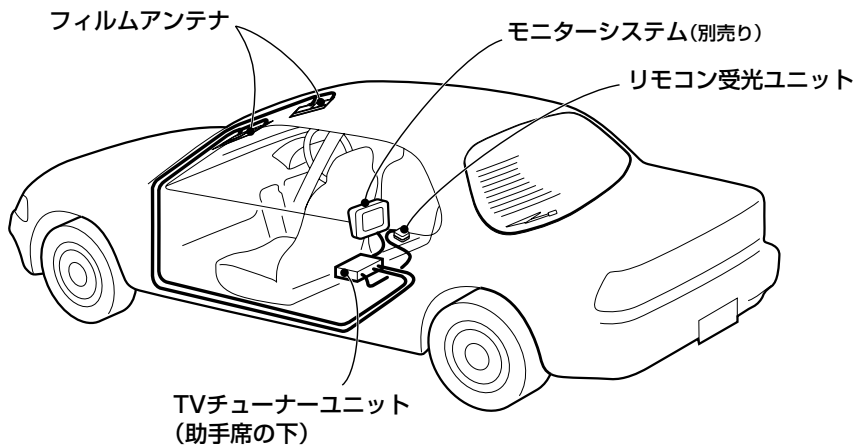
取り付ける

- イラストは、一般的な取り付けの例です。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

KD-AV7000に接続してご使用の場合：



他のモニターシステムに接続してご使用の場合：



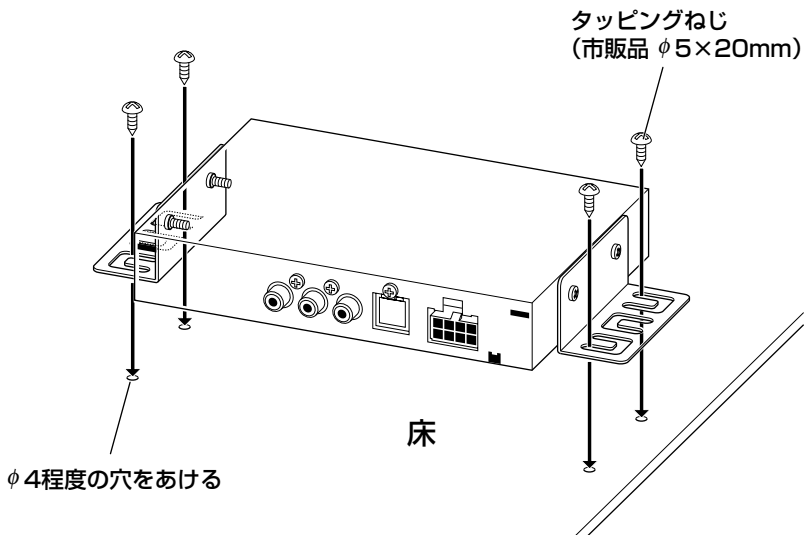
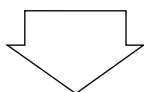
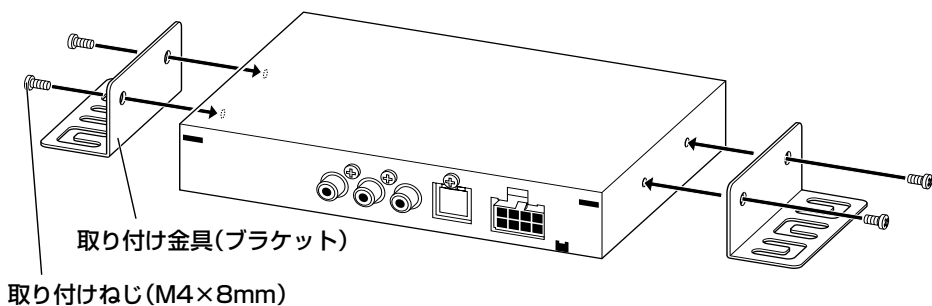
取り付ける (つづき)

TVチューナーユニットを取り付ける

取り付けの前に：

- TVチューナーユニットは、助手席の下やトランク内など安定した位置に取り付けます。
- TVチューナーユニットは熱を発生しますので、燃えやすい物の上には取り付けないでください。
- ラジエーターの近くや、グローブボックス内など、熱源に近い位置、またはフロアマットの下など、チューナーユニットの放熱が妨げられる位置には取り付けないでください。

取り付けの際は、自動車の部品を傷つけないように、必ず適切な長さのタッピングねじ(市販品φ5×20mm)を使用します。



フィルムアンテナを取り付ける

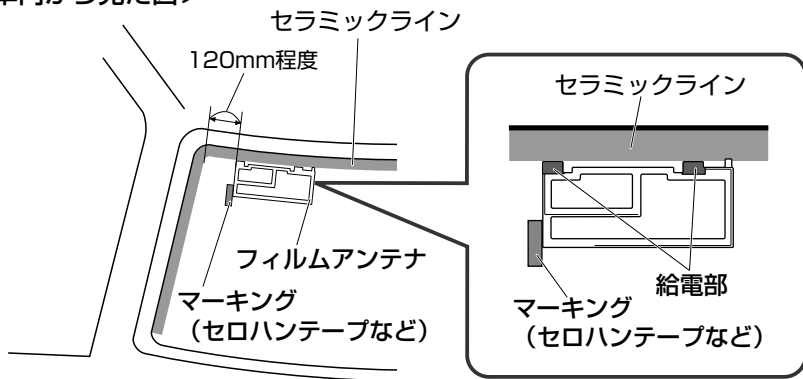
取り付けの前に：

- 付属のフィルムアンテナは、JVC製TVチューナーユニット専用です。(カーラジオには使用できません)
- フィルムアンテナは自動車のフロントウインドウガラスの内側に取り付けます。
- フィルムアンテナは運転中の視界を妨げる位置には張らないでください。
- フィルムアンテナ取り付け作業のイラストは、左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。
- 取り付け作業を始める前に、ダッシュボードを汚さないように布などで覆ってください。
- フィルムアンテナを取り付ける前に、取り付け部分のほこり、ワックス、油などを付属のクリーナーできれいにふきとってください。(湿気、油などが取り付け部分に付着していると、フィルムアンテナや端子の接着力が低下したり、はがれやすくなります)
- フィルムアンテナとケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の溶剤でふかないでください。

1. フィルムアンテナの張り付け位置を決める

- フィルムアンテナの給電部をウインドウガラスのセラミックラインの下端に合わせ、下のイラストのように左右位置をセロハンテープなどでマーキングします。
- ここでは、まだフィルムアンテナの透明シートをはがさないでください。
- セロハンテープなどでフィルムアンテナを仮留めしておくとう作業がしやすくなります。

<車内から見た図>



取り付ける (つづき)

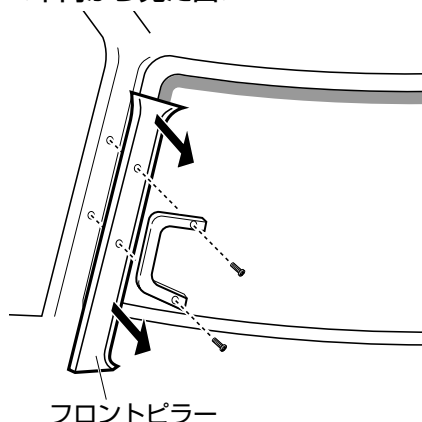
2. フロントピラーを取り外す

- ・フロントウインドウの横にあるフロントピラーを左右とも取り外します。

ご注意

- フロントピラーは、クリップ、ねじなどで固定されており、無理に外すと破損したり、変形することがあります。
- お客様自身が取り付けをされる際に、フロントピラーの取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。(作業工賃はおお客様にご負担いただく場合があります)

<車内から見た図>



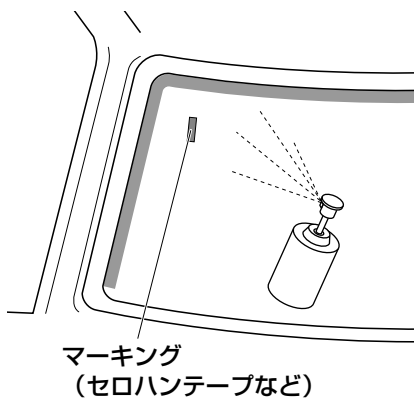
3. 霧吹きなどで中性洗剤の水溶液をウインドウガラスの内側に吹き付ける

- ・水 500cc に対して、中性洗剤 1 ~ 2 滴を入れた水溶液を使用します。

ご注意

- フィルムアンテナを仮留めした場合は取り外します。

<車内から見た図>

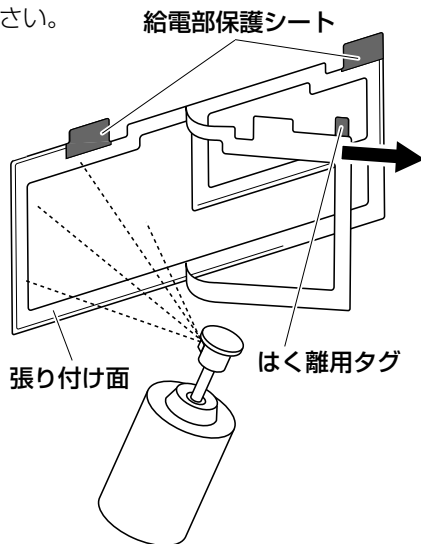


4. フィルムアンテナの張り付け面側の透明シートをはがし、中性洗剤の水溶液を吹き付ける

- ・透明シートをはがすときは、はく離用タグを持ち、ゆっくりはがします。
- ・まだ給電部保護シートははがさないでください。

ご注意

- ・フィルムアンテナの張り付け面に指紋やほこりなどがつかないように注意してください。



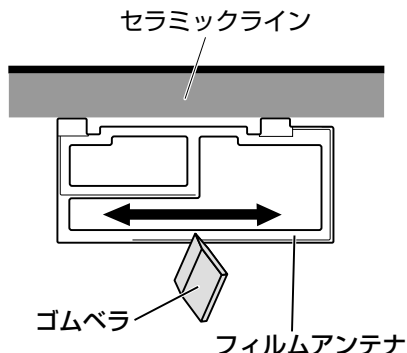
5. フィルムアンテナを張り付ける

- ・上下位置はセラミックラインの下端に合わせ、左右位置は手順1(※9ページ)で付けたマーキングに合わせて張り付けます。
- ・張り付ける際はゴムベラを使い、フィルムアンテナに沿って中央部から外側に向かって気泡をかき出すようにしてウインドウガラスに密着させます。
- ・フィルムアンテナが密着したら、ペーパータオルなどで上から押さえるようにして中性洗剤の水溶液をふきとり、3～4時間放置して乾燥させます。

ご注意

- ・作業中にウインドウガラスが乾いた場合は、再度中性洗剤の水溶液を吹き付けます。
- ・位置の調節は、ウインドウガラスに密着させる前に行います。
- ・位置が決まったら、マーキングをはがします。
- ・密着させるときは、あまり強くこすらないでください。
- ・乾燥させるときは、ドライヤーなどで無理に乾燥させないでください。

<車内から見た図>

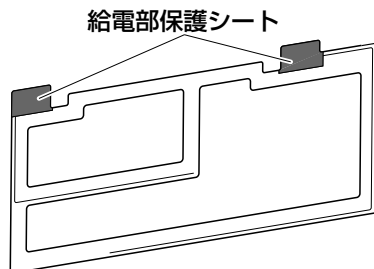


取り付ける (つづき)

6. フィルムアンテナの給電部保護シートをはがす

ご注意

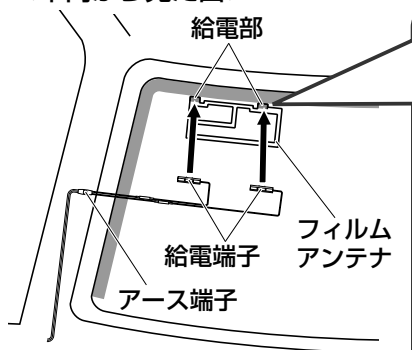
- フィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから作業します。乾燥前に作業をするとフィルムアンテナがはがれやすくなります。



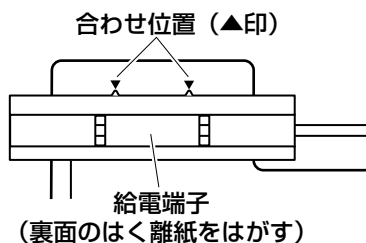
7. アンテナ入力ケーブルの給電端子をフィルムアンテナの給電部に張り付ける

- 長いコードの給電端子を内側の給電部に、短いコードの給電端子を外側の給電部に張り付けます。

<車内から見た図>



給電端子の突起部を、フィルムアンテナの▲印に合わせて張り付けてください。



ご注意

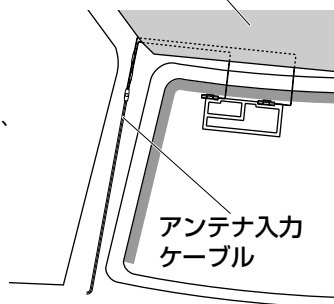
- アース端子付近をセロハンテープなどで仮留めしておくとう作業がしやすくなります。

8. アンテナ入力ケーブルをルーフヘッドライニング(天井の内張り)内に配線する

- ・ルーフヘッドライニングの端の部分を少し引き下げ、ケーブルをルーフヘッドライニング内に収めます。

<車内から見た図>

ルーフヘッドライニング



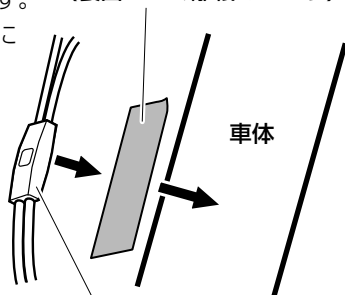
ご注意

- ・無理な力を加えてルーフヘッドライニングが折れ曲がらないように注意してください。
- ・フィルムアンテナの給電部に負担が加わらないよう、給電端子を手で押さえて作業します。
- ・コードが強く引っ張られたり、かみ込まれたりしないように配線します。

9. アーステープとアース端子を車体に張り付ける

- ・アンテナ入力ケーブルのアース端子が届く範囲内で、車体の平らな金属部分にアーステープを張り付けます。
- ・アース端子は、アーステープからはみ出さないように張り付けます。

アーステープ
(裏面のはく離紙をはがす)



アース端子
(裏面のはく離紙をはがす)

ご注意

- ・アーステープは、車体の平面でない部分、クリップ穴、ねじ穴などには張り付けしないでください。
- ・アーステープを張り付けるときは、車体の塗装をはがさないでください。

10. アンテナ入力ケーブルを配線する

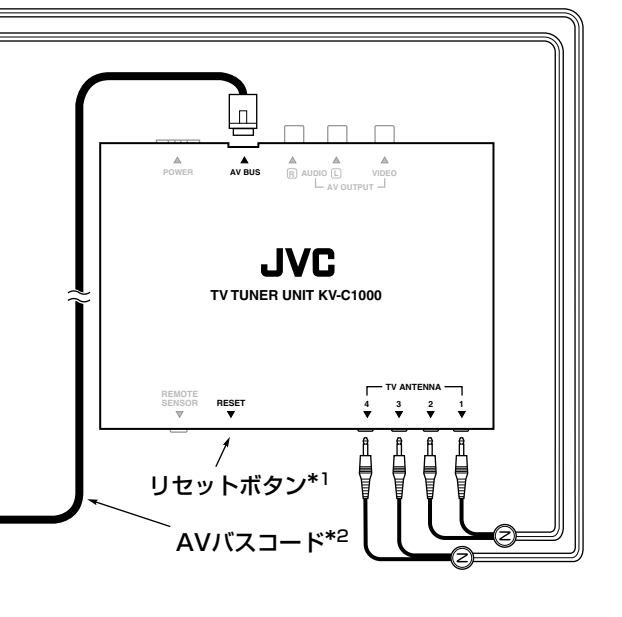
- ・市販品の樹脂クランパーや金属クランパーなどでアンテナ入力ケーブルを固定しながら配線します。

ご注意

- ・運転操作を妨げない位置に配線します。
- ・フロントピラーを取り付ける際に、ケーブルをかみ込まない位置に配線します。

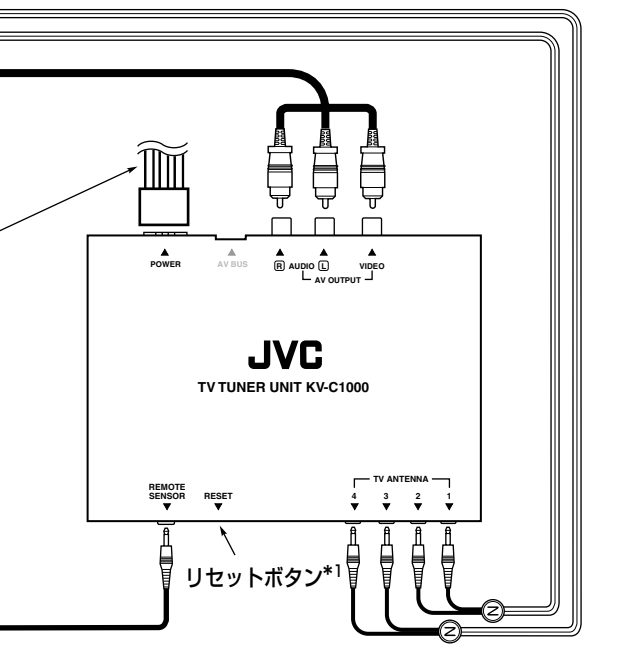
11. フロントピラーを取り付ける

- ・取り外してあったフロントピラーを元通りに取り付けます。



*1 取り付けが終わったら、必ずリセットボタンをボールペンなど先のとがったもので押し、本機をリセットしてください。

*2 KD-AV7000 から本機を操作するために必要な接続はこれだけです。他の接続については、KD-PAV7000 の取付説明書をご覧ください。
(KD-AV7000は、KD-PAV7000のインダッシュ7型ワイドモニター/DVD/CDレシーバー部の型名です)



接続する (つづき)

本機を KD-AV7000 に接続する場合は以下の接続は必要ありません。
(詳しくは KD-PAV7000 の取扱説明書をご覧ください)

- 作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーの⊖端子のコードを外しておいてください。

〈お知らせ〉

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

- ・ ヒューズは定格3Aのものをご使用ください。ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

接続の前に:

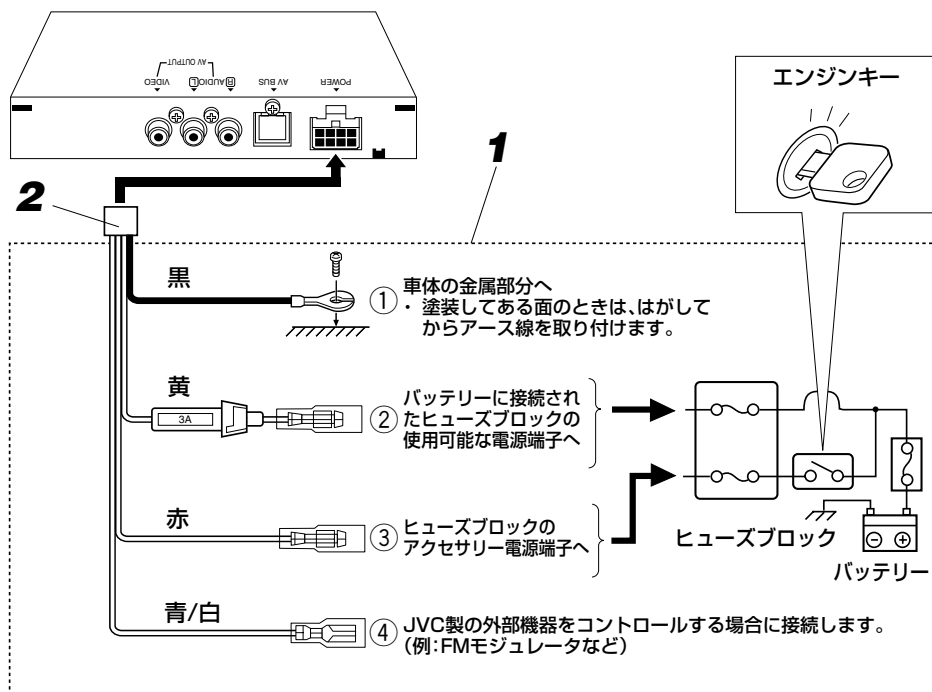
- 車内の配線を確認してください。接続を間違った場合、本機に重大な故障が発生する可能性があります。

接続のしかた

- 下のイラストは、一般的な接続の例です。

1. 下のイラストにある①～④の順序で電源コードの色付きリード線を接続する

2. 最後に電源コードのハーネスを本機に接続する



リモコンの使いかた

本機をKD-AV7000に接続する場合は以下の取り付けは必要ありません。
(詳しくはKD-PAV7000の取扱説明書をご覧ください)

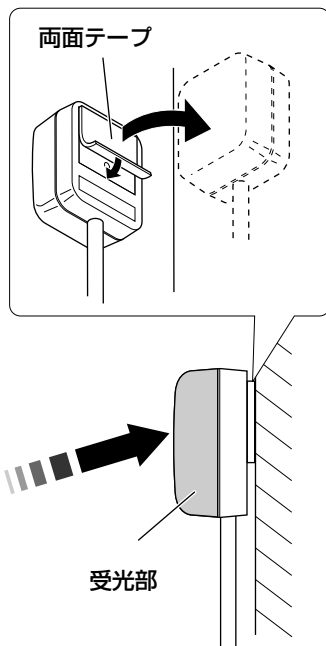
リモコン受光ユニットを取り付ける

接続の前に:

- リモコン受光ユニットはリモコンの信号が前面から受信できる場所に取り付けます。
- リモコン受光ユニットは直射日光が当たらない所に取り付けてください。
- 取り付ける前に、その取り付け位置でリモコンが正しく動作するか確かめてください。

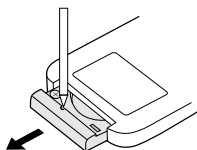
1. 取り付け位置の汚れをよく落とす

2. 両面テープ裏のはく離紙をはがし、 リモコン受光ユニットを固定する



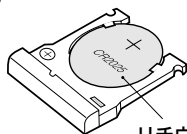
電池の入れかた

1



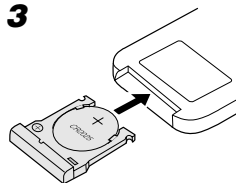
ボールペンなどを
電池入れの溝に入
れて引き出す。

2



リチウム電池
(CR2025)
プラス
⊕側を表にして
電池入れに電池を
入れる。

3



電池入れをリモコン
に差し込む。

● 電池の交換時期(目安)は...

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。
使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

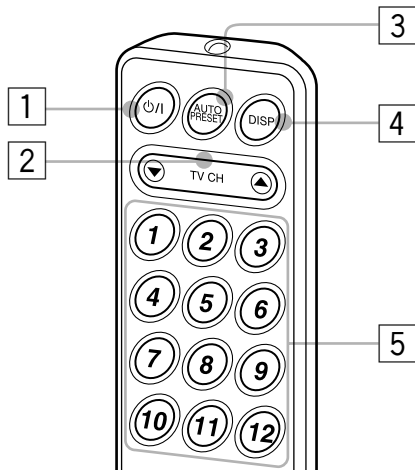
リモコンの使いかた (つづき)

本機をKD-AV7000に接続する場合は以下の操作はできません。

(詳しくはKD-PAV7000の取扱説明書をご覧ください)

リモコンで操作する

本機を操作するときは、リモコン受光ユニットにリモコンを向けます。

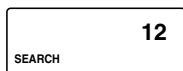


① 電源ボタン

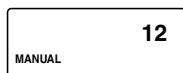
— 本機の電源を「入/切」します。

② TV CH(チャンネル)▲/▼ボタン

— 「ポン」と押すと、「SEARCH」と表示され、自動で受信チャンネルを探し、受信すると停止します。
(オートサーチ機能)

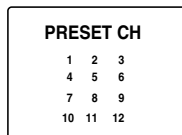


— 2秒以上押しして「MANUAL」を表示させたあと、「ポン、ポン」と押すとチャンネルが変わります。
(マニュアルサーチ機能)

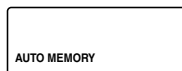


③ オートプリセットボタン AUTO PRESETボタン

— 「ポン」と押すと、数字ボタン(1~12)にプリセットされたチャンネルリストをモニターに表示します。



— 2秒以上押すと、受信可能なTVのチャンネルを、数字ボタン(1~12)にプリセットします。



④ DISP(ディスプレイ)ボタン

— 「ポン」と押すと、モニターに現在受信中の放送局のプリセットチャンネル番号を表示します。ステレオ放送受信中は「ST」を表示します。

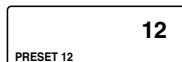


— 2秒以上押すと、二重音声の「MAIN」と「SUB」または「M+S(MAINとSUBの両方)」の音声切換ができます。



⑤ 数字ボタン(1-12)

— 「ポン」と押すと、プリセットされたチャンネルが選べます。
— 2秒以上押すと、現在受信中のチャンネルを数字ボタンにプリセットします。



「故障かな?」と思う前に

● 本機を KD-AV7000 以外のモニターシステムに接続してご使用の場合:

症状

原因・処置

・TV チューナーが操作できない。

- ・リモコン受光ユニットが正しく接続されていない。
➔正しく接続する。
- ・リモコンをリモコン受光ユニットに向けていない。
➔リモコンをリモコン受光ユニットに向ける。
- ・リモコンの電池が消耗している。
➔新しい電池に交換する。
- ・リモコンの電池の入れ方がまちがっている。
➔電池を正しく入れる。

・音声が聞こえない。

- ・モニターの音量が0になっている。
➔モニターで音量を調節する。

・映像が映らない。

- ・モニターが正しく接続されていない。
➔正しく接続する。
- ・モニターで正しい入力を選択されていない。
➔正しい入力を選択する。
- ・パーキングブレーキがかかっている。
➔車を停止させ、パーキングブレーキをかける。
- ・モニターのパーキングブレーキ接続コードが正しく接続されていない。
➔正しく接続する。

・映像が鮮明に映らない。

- ・電波が弱い。
- ・受信している放送局のサービスエリアから外れている。
➔他の場所に車を移動して再確認する。

・映像にはん点やしま模様が出る。

- ・ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などからの電波の影響を受けている。
➔妨害電波を受けない場所に車を移動する。

・電源が入らない。

- ・黄色のリード線が正しく接続されていない。
➔正しく接続する。

● 本機を KD-AV7000 に接続してご使用の場合:

- ➔KD-PAV7000 の取扱説明書をご覧ください。(KD-AV7000 は、KD-PAV7000 のインダッシュ7型ワイドモニター/DVD/CD レシーバー部の型名です)

〈お知らせ〉

バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、長時間使用しないでください。

保証とアフターサービス —必ずお読みください—

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

19ページの「故障かな？」と思う前に、**に従って**お調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

TVチューナーユニット

受信チャンネル	:VHF 1～12チャンネル UHF 13～62チャンネル
選局方式	:PLL周波数シンセサイザー方式
アンテナ方式	:4chダイバーシティ
TVアンテナ端子	:× 4
AVバス端子	:× 1
リモコン受光ユニット端子	:× 1
出力端子	映像出力 :RCA PIN(× 1)、1.0V(p-p)/75Ω 音声出力 :RCA PIN(× 1系統)、150mV(rms)

総合

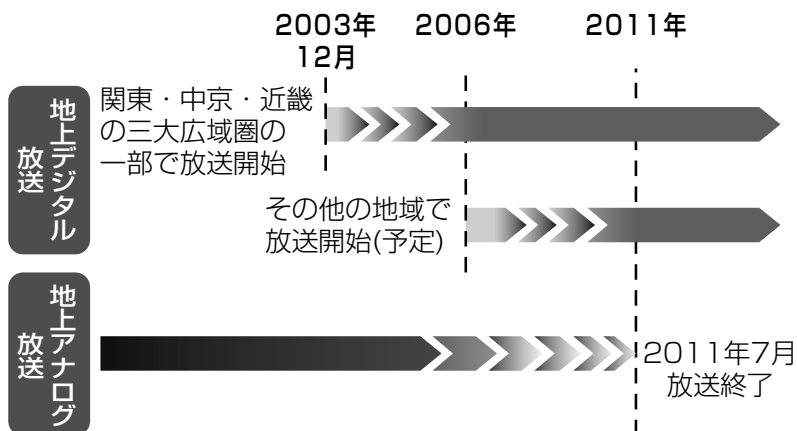
電源電圧	:DC14.4V(11～16Vで使用可能) マイナスアース専用
使用温度範囲	:0°C～+40°C
外形寸法	:幅163mm×高さ28mm×奥行122mm
質量	:0.6kg

- このTVチューナーは日本国内用です。外国では放送方式が異なりますので使用できません。
(This television tuner unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。



ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

F 0120-977-846 (フリーコール)
FAX(027)254-8927
受付時間 10:00~18:00
(土、日、祝日、当社休日を除く)
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町1-10-1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.victor.co.jp/>

カーAV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12